

夏秋ギク型スプレーギクの県オリジナル品種の育成

和歌山県農業試験場 栽培部 研究員 濱中 大輝

1. はじめに

和歌山県において現在導入されている夏秋ギク型スプレーギクの品種は、茎葉が軟弱である等の欠点があるため、産地では栽培に適した有望品種の探索を行っていますが、長年にわたって定着する品種はあまりありません。

そこで、農業試験場では 2012 年から、本県での栽培に適する、形質の優れた夏秋ギク型スプレーギクの育種に取り組んでおり、本県オリジナル品種の開発を目指しています。

2. 育種目標

短日処理開始後、約 6~7 週間で開花し、草姿、切り花品質等の形質が総合的に優れ、シングル咲きで、花色が白、桃、黄の夏秋型スプレーギクの育成を目標としています。

3. 育成経過

1) これまでの育成経過

2012 年から交配を開始し、2013 年には得られた種子を播種、栽培して約 4000 個体の中から 101 個体を選抜しました。

また、2013 年に交配を行って得られた種子を 2014 年に播種、栽培を行い、約 4000 個体の中から 62 個体を選抜しました。

これらの選抜した個体については、その後、系統選抜を行い、2015 年までに計 16 系統を選抜しました。

本年は、これら 16 系統について、8 月咲き、9 月咲きの 2 つの作型で場内試験および現地実証試験を実施し、各系統の

形質や特性について調査しました。

そして、これらの調査結果と、県スプレーマム研究会会員による評価等をもとに、県オリジナル品種の最終候補となる白色 1 系統、桃色 1 系統、黄色 1 系統の計 3 系統を選抜しました。

2) 選抜した系統の特徴

いずれの系統も茎葉が比較的強固であり、短日処理開始後、8 月咲きの作型では、約 44~50 日、9 月咲きの作型では約 45~55 日で開花しました。

白色の選抜系統は、慣行品種の‘イレーザ’よりも切り花長が約 10cm 長く、2 日ほど早く開花しました。また、8 月咲きの作型では、輪数、茎径、調整重のいずれも‘イレーザ’より大きく、ボリュームに優れましたが、9 月の作型では、いずれの項目も‘イレーザ’より小さくなりました。

桃色の選抜系統は、‘アリエス’よりも切り花長が短く、輪数も少ないですが、茎径、調整重が大きく、草姿に優れました。また、8 月咲きの作型では、‘アリエス’とほぼ同じ到花日数で開花しましたが、9 月咲きの作型では‘アリエス’よりも約 5 日遅く開花しました。

黄色の選抜系統は、8 月咲きの作型では‘オルカ’よりも約 5 日遅く、9 月咲きの作型では、‘セイオプティ’よりも約 2 日早く開花しました。また、切り花長、茎径、輪数、調整重のいずれも‘オルカ’、‘セイオプティ’よりも大きく、ボリュームに優れました。

5. 今後のスケジュール

今回選抜した県オリジナル品種最終候補の 3 系統については、産地の意見も踏

まえつつ、2017 年度に詳細な特性調査と現地試作を行ったうえで、品種登録の出版願を行う予定です。



写真 県オリジナル品種候補の 3 系統

表 選抜系統と慣行品種の切り花特性（場内試験）

〈 8 月咲き 〉

花色	系統または品種 ^w	到花日数 ^x (日)	輪数 ^y (輪)	茎径 (mm)	切り花長 (cm)	調整重 ^z (g)
白	選抜系統	44.6 ± 1.0	13.3 ± 1.9	5.6 ± 0.4	115.1 ± 3.7	53.7 ± 8.9
	イレーザ	46.6 ± 1.8	9.3 ± 1.6	5.3 ± 0.7	102.1 ± 2.7	52.3 ± 14.7
桃	選抜系統	45.3 ± 0.8	11.1 ± 2.5	4.9 ± 0.8	96.3 ± 6.9	42.9 ± 13.6
	アリエス	45.6 ± 1.7	12.6 ± 2.3	4.7 ± 0.5	110.5 ± 5.3	37.8 ± 8.6
黄	選抜系統	49.1 ± 2.8	13.8 ± 3.8	4.6 ± 0.8	98.8 ± 5.5	43.9 ± 16.1
	オルカ	44.5 ± 2.0	11.8 ± 2.9	4.4 ± 0.8	83.2 ± 6.4	36.7 ± 12.7

挿し芽(直挿し):2016年5月19日、摘心:6月10日、消灯:7月5日、短日処理(12.5時間日長):7月5日~8月3日

〈 9 月咲き 〉

花色	系統または品種 ^w	到花日数 ^x (日)	輪数 ^y (輪)	茎径 (mm)	切り花長 (cm)	調整重 ^z (g)
白	選抜系統	47.4 ± 2.2	8.2 ± 2.0	5.0 ± 0.7	103.9 ± 3.7	40.8 ± 11.7
	イレーザ	48.8 ± 2.2	8.5 ± 1.4	5.1 ± 0.8	95.8 ± 3.0	51.8 ± 15.4
桃	選抜系統	53.0 ± 2.3	7.9 ± 1.4	4.2 ± 0.7	97.9 ± 5.4	40.2 ± 11.8
	アリエス	48.4 ± 2.1	11.3 ± 2.5	4.1 ± 0.5	114.9 ± 4.3	36.2 ± 8.8
黄	選抜系統	48.3 ± 1.9	10.3 ± 2.4	4.1 ± 0.5	105.2 ± 2.4	36.7 ± 7.2
	セイオプティ	50.4 ± 2.0	6.3 ± 1.1	3.8 ± 0.6	98.5 ± 2.6	28.6 ± 6.2

挿し芽(直挿し):2016年6月21日、摘心:7月12日、消灯:8月3日、短日処理(12.5時間日長):8月3日~9月1日

注)

z: 切り花を80cmに調製し、基部から20cmまでの葉を取り除いたときの重さ

y: 着色が認められた花序数

x: 短日処理を開始してから、切り花日までに要した日数

w: _____で示す品種は、和歌山県における慣行品種(対照品種)

v: 表中の数値は、平均値±標準偏差を示す